



杉本功編 佐末月

# 論！ 東濃の魅力

## 光秀「大河効果」生かそう

### 小和田哲男 静岡大名誉教授

世間が抱く明智光秀のイメージは一般的に「謀反人」「主殺し」などと悪役として浸透しているが、私はそうは思わない。信長の下で戦いのない時代をつくらうと一生懸命努力した人物だ。このような人物が大河ドラマに主人公として、それも悪人ではなく知将として登場することは画期的で期待している。

年代の戦国時代の早い段階、光秀が若い頃から登場する。これまでは本能寺の変が主だったが、もっと若い頃から描かれるので楽しみにしている。斎藤道三、織田信長との関係も描かれ、若き日の光秀の夢と野望を描くドラマになると思う。

天下を制すと言われるが、京都や近江ではなく、少し離れた美濃や尾張から天下人が出てくる歴史の面白さが魅力。美濃の中でも今回は東濃地方が脚光を浴びることになるが、美濃の守護としてずっといた土岐氏の存在にも触れることになると思う。土岐一族の明智として脚光を浴びることになるだろう。



「大河ドラマを一過性のブームで終わらせたくない」と語る小和田哲男名誉教授（静岡市）



美濃源氏発祥の地に立つ明智光秀の像と碑。出生地は諸説あるが、土岐氏の家系から明智氏が出たとされる＝瑞浪市土岐町、一日市場八幡神社

何よりもドラマを一過性のブームに終わらせないことが大切だ。地元で郷土史を研究する団体「美濃源氏フォーラム」のように、ドラマ放映後も継続して活動を続けることが求められる。

を中心約200億円の経済効果があったと聞く。ドラマの本編終了後に約1分間、ゆかりの土地が紹介されるが、その場所を中心に視聴者が旅行先として訪れる。昨年放映された「おんな城主 直虎」も、静岡県

る。東濃には史跡も多く、多くの観光客が見込まれる。地域では関連商品も発売され、飲食業や宿泊業など業界をまたいでにぎわうだろう。迎える側の準備も大切で、案内板の整備などを進めてほしい。自治体をまたいだ連携も大事で、他、大河ドラマが放送される自治体の取り組みを参考に、主人公にまつわる

地方創生「チカラは地から」

### 深まる研究 ファン増加も

一方、ドラマ化によって、光秀に関する研究は一層深まる。大河ドラマが放送されてから、主人公にまつわる本がたくさん出版される。いろいろな出版社が執筆者に依頼することで、光秀に詳しくなかった人が研究に入り、研究者の層が厚くなるメリットがある。埋もれている史料の発掘にもつながる。また、主人公になることで光秀が好青年として描かれるため、親近感を抱きやすくなり、ファンもさっと増える。若い人が、これから光秀の研究者として育ってほしい。